

シネラ

fiat

国際フィルム・アーカイブ連盟=FIAPFは
映画の保存を目的とする国際団体です。
福岡市総合図書館はFIAPFの会員です。3
No.114

特別企画

成瀬巳喜男監督映画祭

女性映画の巨匠、成瀬巳喜男監督の生誕100年を
記念して代表作を上映する第二部

第二部

鶴八鶴次郎

特別企画

サイレント映画弁士・楽団付き上映

栗島すみ子 特集

「夜ごとの夢」は成瀬巳喜男監督のサイレント時代の代表作
「ほととぎす（不如帰）」は成瀬が師事した池田義臣監督の代表作

ほととぎす（不如帰）

収蔵作品特集

レイス・チェリッキ監督と
トルコ映画 特集

トルコを代表する監督レイス・チェリッキ監督を中心にトルコ映画の秀作を特集



そこに光を



成瀬巳喜男監督 映画祭 第二部



3月1日(水)～11日(土) ※休館日・休映日除く

観覧料:600円(大人)500円(大学生・高校生)

400円(中学生・小学生)1,500円(3回券)

主催:福岡市総合図書館、映像ホール・シネラ実行委員会

共催:コミュニティシネマ支援センター、(財)国際文化交流推進協会(エース・ジャパン)

東京国立近代美術館フィルムセンター

フィルム・写真提供:東宝株式会社

*定員制・各回入替制 *チケットはすべて当日券。前売り券はありません。
*障がい者の方及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。(手帳の提示が必要です)
*3回券は障がい者及び高齢者割引なし。

おかあさん

●3月 2日(木) 14:00
●3月 4日(土) 11:00



1952年/35ミリ/モノクロ/97分/新東宝
監督:成瀬巳喜男 出演:田中絹代、香川京子

福原一家は戦前は洗濯屋をしており、戦災で焼けた店を建て直すため家族みんなががんばっていました。家族は父親の良作、母親の正子、長女の年子、療養所に入院している長男、二女の久子、そして叔母の子供の哲夫が同居していました。やっとのことで洗濯屋を開業した頃、長男は死んでしまいます。しばらくして父親も体調を崩して寝たきりになってしまい、ついには死んでしまいます。店は父の弟子だった木村の手伝いのおかげでなんとか持ち直すのですが、世間では正子と木村が再婚するのではと噂が流れ、年子は木村になじむことができません。

この映画の脚本は、全国の小学生から募集した「母を主題とした」綴り方集「おかあさん」から、脚本家水木洋子が作り上げたものです。戦後まもない東京の風景、家族関係、そして戦争の傷がさりげなく描かれています。貧しいクリーニング屋を舞台としながら、本作にはあまり暗さがありません。むしろコミカルな優しさが漂うのは、映画が香川京子演じる二女・久子の視点から描かれているためでしょう。ボーイフレンドにフランスの小説を読んでもらってうっとりしたり、みんなでピクニックに行ったことなどが、家族の幸せな思い出として描かれています。ですからラストの「大好きなおかあさん。いつまでも元気でいて下さい。」という言葉に素晴らしい説得力があります。映画の中で久子が花嫁衣装を着る場面がありますが、日本映画史上屈指のかわいらしく初々しい花嫁姿を見せてくれます。

乙女は三人姉妹

●3月 9日(木) 14:00
●3月11日(土) 11:00



1935年/35ミリ/モノクロ/75分/PCL
監督:成瀬巳喜男 出演:細川ちか子、堤真佐子

舞台は東京・浅草。心優しいお染は守銭奴の母にこき使われていた。ある日、彼女は楽士の小杉と駆け落ちした姉・おれんと再会する。おれんは小杉が肺病を病み、金策に舞い戻ったのだが…。トーカーを撮るために松竹からP.C.L.に転じた移籍第一作で、成瀬にとって初のトーカー作品。

女人哀愁

●3月 8日(水) 14:00
●3月10日(金) 19:00



1937年/35ミリ/モノクロ/73分/PCL
監督:成瀬巳喜男 出演:入江たか子、御橋公
東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品

親に言われるままに裕福な堀江家に嫁いだ河野広子。しかし堀江家ではただ下働きのように働かされ、毎日のように朝帰りをする夫・新一の帰りを待つ日々だった。ある日、新一の妹・洋子が愛人のもとを飛び出し、家に戻ってくる…。嫁入り前の小市民的世界に特に成瀬らしさを感じる佳作。

鶴八鶴次郎

●3月10日(金) 14:00
●3月11日(土) 14:00



1938年/35ミリ/モノクロ/88分/東宝
監督:成瀬巳喜男 出演:長谷川一夫、山田五十鈴

鶴八と鶴次郎は美男美女で、男太夫に女の三味線という珍しいコンビということもあり、人気の新内だった。鶴次郎は彼の主筋にあたる鶴八を憎からず思っていた。ある日、鶴八に縁談の話を持ち上がり、それを知った鶴次郎は…。第一回直木賞を受賞した川口松太郎の代表作を成瀬が的確な演出で描いた作品。

旅役者

●3月 9日(木) 19:00
●3月11日(土) 17:00



1940年/35ミリ/モノクロ/70分/東宝
監督:成瀬巳喜男 出演:藤原龍太、柳谷真

信州の田舎町に「塩原多助」を当たり狂言とする六代目中村菊五郎一座が来る。一座には芸熱心だが奇人の自称日本一の「馬の脚」役者、儀六がいた。興行師の若狭屋達は、この中村菊五郎一座で一儲けを企み、本物の六代目菊五郎(本物は尾上菊五郎)と偽り、村の顔役に引き合わせて金を出させようと企むが…。笑いの中に哀愁が込められた佳作。

浮雲

●3月 1日(水) 14:00
●3月 4日(土) 17:00



1955年/35ミリ/モノクロ/123分/東宝
監督:成瀬巳喜男 出演:高峰秀子、森雅之
福岡市総合図書館収蔵作品

戦時中、仏領インドシナで知り合い、恋に落ちたゆき子と富岡。戦後、遅れて引き上げた幸子は富岡を訪ねるが、彼は妻と別れておらず、煮え切らない態度だった。途方に暮れたゆき子は外国兵の囲われものとなるが…。成瀬巳喜男の代表作で日本映画史に残る名作の一つともなった作品。

娘・妻・母

●3月 3日(金) 14:00
●3月 5日(日) 14:00



1960年/35ミリ/カラー/122分/東宝
監督:成瀬巳喜男 出演:原節子、高峰秀子

坂西家には今年還暦を迎える母、あきと長男・勇一郎と妻、和子と孫、そして三女の春子が暮らしていた。そこへ夫婦喧嘩がもとで長女の早苗が実家に戻ってくる。しかし早苗の夫は交通事故で急逝してしまい…。18年ぶりとなった原節子と高峰秀子の共演を含め、当時の東宝人気女優が総出演し、話題となった作品。

放浪記

●3月 3日(金) 19:00
●3月 4日(土) 14:00



1962年/35ミリ/モノクロ/123分/東宝
監督:成瀬巳喜男 出演:高峰秀子、宝田明

昭和の初め、林ふみ子は母親・きしと二人で行商をしながら、駄菓子屋の二階を間借りして暮らしていた。やがてふみ子はきしを実家の父のもとへ帰し、女工からカフェの女給となり、詩人で作家の伊達と知り合い…。林芙美子の出世作となった自伝的映画化であり、成瀬による最後の林文学の映画化作品でもある。

女の中にいる他人

●3月 2日(木) 19:00
●3月 5日(日) 11:00



1966年/35ミリ/モノクロ/101分/東宝
監督:成瀬巳喜男 出演:小林桂樹、新珠三千代

ある日杉本は隣人の田代とぼったり出会い、二人で鎌倉のスナックへ行く。そこへ杉本の妻、さゆりが自宅で殺されているという連絡が入った。連絡してきたのはさゆりの友人の弓子だった。さゆりの葬式の日、弓子は田代を紹介されるがその顔に見覚えがあった…。成瀬が病氣療養から復帰して最初の作品であり、彼としては珍しいサスペンス映画。

特別企画

サイレント映画弁士・楽団付き上映

栗島すみ子 特集

サイレント期に映画界のクイーンと呼ばれた栗島すみ子主演作2本を上映。「夜ごとの夢」は成瀬巳喜男監督のサイレント時代の代表作の一本。「ほととぎす(不如帰)」は成瀬が助監督として師事した池田義臣監督の代表作。

3月12日(日) 14:00

観覧料:1,000円(事前の申し込みが必要)

申し込み方法

往復ハガキに郵便番号、住所、氏名、電話番号、「栗島すみ子特集」観覧希望と記入の上、下記まで応募して下さい。
お一人様往復ハガキ一枚で応募して下さい。

〒814-0001

福岡市早良区百道浜3-7-1 福岡市総合図書館映像資料課宛

*応募多数の場合は抽選になります。応募の締め切りは2月24日(金)必着です。



夜ごとの夢

●弁士
澤登翠

プロフィール

東京都出身。故松田春翠門下として活動弁士のキャリアは30年を越えている。洋画、邦画、時代劇などさまざまなレパートリーをこなし、国内だけでなく海外での公演も行い、「伝統話芸・活弁」を現代に伝える貴重な活動をしている。2002年度文化庁芸術祭優秀賞など、受賞歴多数。

●楽団
カラード・モトーン

プロフィール

無声映画の伴奏を行うために、指揮・三味線を担当する湯浅丈一を中心に結成された楽団。太鼓やフルートなど総勢5名の構成で澤登翠と共に日本各地で無声映画の公演を行っている。

主催:福岡市総合図書館、映像ホール・シネラ実行委員会
共催:コミュニティシネマ支援センター

(財)国際文化交流推進協会(エース・ジャパン)

東京国立近代美術館フィルムセンター

フィルム・写真提供:松竹株式会社、マツダ映画社

*定員制。*チケットはすべて当日券。入場には事前の申し込みが必要です。

*障がい者及び高齢者割引なし。

*「成瀬巳喜男監督映画祭」の3回券の使用はできません。

ほととぎす(不如帰)



幼くして母と死別した浪子は、18才で海軍少尉・武男の元に嫁いだ。しかし浪子は苛酷な義母の仕打ちにあい、肺病となってしまう。徳富蘆花原作の有名な文芸悲劇で、サイレント映画だけでも17回映画化されている。

1922年/16ミリ/モノクロ/サイレント/25分/松竹

監督:池田義臣 出演:栗島すみ子、岩田祐吉 弁士:澤登翠 楽団:カラード・モトーン

夜ごとの夢



夫に逃げられたおみつは子供の文坊のために体を売って生活していた。おみつは売れっ子だったが、ある日落ちぶれた夫の水原が帰ってくる。子供のためにと三人で暮らし始めるおみつだったが、水原にはいっこうに仕事がないのだった。成瀬巳喜男監督は本作により山中貞雄と並ぶ日本映画の若手ホープと評されるようになった傑作。

1933年/35ミリ/モノクロ/64分/サイレント/松竹

監督:成瀬巳喜男 出演:栗島すみ子、斎藤達雄 弁士:澤登翠 楽団:カラード・モトーン

収蔵作品特集

レイス・チェリッキ監督とトルコ映画特集



トルコを代表する監督の一人レイス・チェリッキ監督を中心にトルコ映画の秀作を特集

3月15日(水)~21日(火・祝)

*休館日除く

観覧料:500円(大人)400円(大学生・高校生)300円(中学生・小学生)

*定員制・各回入替制 *チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

*障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は半額。(手帳の提示が必要です)

メルセデス、わが愛 Mercedes, Mon Amour



1993年/35ミリ/カラー/98分

トルコ/日本語・英語字幕付き

監督:バイ・オカン

出演:イリヤス・サルマン

ヴァレリー・ルモン

バイラムはトルコからドイツに出稼ぎに出てお金を貯め、彼の念願の夢だったベンツを購入する。ベンツに乗って故郷に錦を飾ろうと帰国の途につくバイラムだったが、途中彼に様々な災難が降りかかってくる。ベンツを過剰に大切に扱う主人公がコミカルに描かれる。

そこに光を Let There Be Light



1996年/35ミリ/カラー/115分

トルコ/日本語・英語字幕付き

監督:レイス・チェリッキ

出演:ペルバン・シムシェッキ

タークル・タルジャン

トルコ東南部の山岳地帯。セイド率いるクルド人の反政府軍を、ムラット隊長率いる政府軍が追いつめていた。しかし雪山の中での激しい戦闘のため最後に生き残ったのはセイドとムラットだけになってしまう。二人は雪山から脱出するめた協力せざるを得なくなるのだった。

グッバイ・トゥモロー Goodbye-Tomorrow



1998年/35ミリ/カラー/115分

トルコ/日本語・英語字幕付き

監督:レイス・チェリッキ

出演:ペルバン・シムシェッキ

ギョネン・ボズベイ

60年代後半から70年代、トルコで学生運動のカリスマのリーダーだったデニス・グズミスを描いた作品。彼は軍事政権に捕らえられ死刑にされるのだが、現在でもこの裁判の正当性には疑問が投げられている。監督は彼を好意的な視線で捕らえ、民主主義とは何かを訴える。

頑固者たちの物語 Tales of Intransigence



2004年/35ミリ/カラー/91分

トルコ・ドイツ/日本語・英語字幕付き

監督:レイス・チェリッキ

出演:トゥンチェル・クルティズ

サブリト・タタル

一年のほとんどを雪で閉ざされる、トルコの北東アナトリアの村。ダシヨは馬車で近くの町まで人を運ぶ仕事をしていて、ところがカイゼルがエアコン付きのミニバスを買い、同じ商売を始める。ついには二人はどちらが先に町に到着するか、競争を始めるのだった。この地方の民話を元にした物語で、多くの頑固者達の物語が語られる。

少女ヘジャル Hejar



2001年/35ミリ/カラー/120分

トルコ/日本語・英語字幕付き

監督:ハンダン・イベクチ

出演:ディラン・エルチェティン

シュクラン・ギュンギョル

両親を失ったクルド人少女ヘジャルは、イスタンブールの親戚のアパートに預けられる。ところが親戚の家に突然警察が突入し、戸棚に隠れていたヘジャルだけが生き残る。アパートの向かいには元判事の老人が住んでおり、ヘジャルを見かねて匿うのだが…。クルド人少女とトルコ人老人の心の交流を暖かく描いた秀作。

裏側の子どもたち Children of Secret



2002年/35ミリ/カラー/120分

トルコ・ハンガリー

日本語・英語字幕付き

監督:アイヴァン・サイマン、クミット・C・キュベン

出演:フラット・タヌシュ

ハリル・イブラヒム・アラス

少年ジェミルは義父の虐待に耐えきれず、家出してイスタンブールにやってくる。ジェミルはそこで、ヴェリットを中心としたホームレスの少年グループの仲間になる。ヴェリットは何とか、ジェミルが家まで帰るお金を工面しようとするのだった。イスタンブールのストリート・チルドレンの問題に焦点を当てた社会派の作品。

3月

上映スケジュール

成瀬巳喜男監督映画祭第一部

1 水	[14:00] 浮雲	
2 木	[14:00] おかあさん	[19:00] 女の中にいる他人
3 金	[14:00] 娘・妻・母	[19:00] 放浪記
4 土	[11:00] おかあさん	[14:00] 放浪記
5 日	[11:00] 女の中にいる他人	[14:00] 娘・妻・母
6 月	休館日	
7 火	休映日	
8 水	[14:00] 女人哀愁	
9 木	[14:00] 乙女ごころ三人姉妹	[19:00] 旅役者
10 金	[14:00] 鶴八鶴次郎	[19:00] 女人哀愁
11 土	[11:00] 乙女ごころ三人姉妹	[14:00] 鶴八鶴次郎
12 日	[17:00] 旅役者	



おかあさん



旅役者

サイレント映画弁士・楽団付き上映 栗島すみ子特集 [14:00] ほととぎす、夜ごとの夢



夜ごとの夢

レイス・チェリッキ監督とトルコ映画特集

13 月	休館日	
14 火	休映日	
15 水	[14:00] そこに光を	
16 木	[14:00] グッバイ・トゥモロー	[19:00] メルセデス、わが愛
17 金	[14:00] 少女ヘジャル	[19:00] 裏側の子どもたち
18 土	[11:00] そこに光を	[14:00] 頑固者たちの物語
19 日	[11:00] 裏側の子どもたち	[14:00] 少女ヘジャル
20 月	休館日	
21 火(祝)	[11:00] メルセデス、わが愛	[14:00] 頑固者たちの物語



少女ヘジャル



裏側の子どもたち

自主上映 [福岡映画サークル2006年第2回例会]



グッバイ・トゥモロー

特別企画
大映映画史

日本を代表する映画会社を特集するシリーズ第三弾

4月26日(水)~5月14日(日)

●上映作品

「王将」「羅生門」「眠狂四郎勝負」ほか

4月29日(土・祝)

女優 藤村志保シネマトーク

次号予告

チェリッキ監督とルーシープロデューサーのインタビュー (2005年9月)

Q:最新作「頑固者たちの物語」に関してですが、この映画を作るきっかけは何でしたか?

A:●(チェリッキ)きっかけというより、それは「理由」と言った方が良いでしょう。現代は色々な国の様々な文化が忘れられています。特に地方の文化が忘れられています。この文化をいかにするためにこの映画を作りました。

○(ルーシー)地方における独特な文化が、グローバル化されたこの世界の中で殆ど失われています。

●(チェリッキ)世界のどこでもそうだと思いますが、その国の独特な文化を殺す傾向が見えます。私はこれには賛成できません。ですから、地方の独特の文化を皆様にご覧になっていただくためにこの作品を手付けました。

○(ルーシー)今日は移住、移動がかなり多く見られます。村から大都会に引っ越す人が多くなって、したがって村人が少なくなっています。トルコの場合、若者にこの傾向が顕著です。この若者が残念ながら自分の文化、地方における文化を忘れていて、または自分の文化を知らないというのが現状です。

Q:映画を撮る目的とは別に、映画の中で伝えたいメッセージはありますか?

A:●(チェリッキ)伝えたいメッセージは、三つのテーマに分かれます。すべては頑固さということに関わるテーマです。「意地」というものです。第一に、人間は何かがあっても自分が生きるために、また自分の文化をいかにするために「意地をはって」「何でもやる。意地をはって勝とうとする」というメッセージを伝えたい。第二は、「女の意地」です。女が意地をはって何でもやる。第三に、例えば教育を受けた人が、あまり教育を受けていない人に対して意地をはって「私の方が偉い」「みたいな感じで様々なことを使ったり様々なことをやったりする、ということも伝えたい。

○(ルーシー)英語に訳されても、日本語の字幕をつけてもトルコ国内の独特なものですから、(外国人には)十分に理解するのが難しい内容だと思います。例えば映画の中で出てくる人物の国籍ですけど、トルコ人であっても、もともとはアゼルバイジャンの人であったり、またはアルメニアの人であったり、クルド人であったりします。(トルコ人として)ハーモニーがありますが、このようなことは外国の方にとって非常に理解しにくいのではないかと思います。

レイス・チェリッキ
プロフィール

1961年トルコ北東部のアルダハン生まれ。80年代半ばよりドキュメンタリーの脚本・監督として映像の世界に進出。96年に長編劇映画第1作となる「そこに光を」を発表、国際的に高い評価を得る。トルコを代表する監督として現在活躍している。作品は、「グッバイ・トゥモロー」「頑固者たちの物語」等。

INFORMATION

■ ホームページ「うえぶシネラ」をご覧ください。

●うえぶシネラ アドレス <http://www.cinela.com>

■ 自主上映のお知らせ

3月26日(日) 福岡映画サークル2006年第2回例会

●ひまわり [11:00] [14:00]

観覧料/前売り:1,200円 当日:1,400円 シニア:1,000円 主催/福岡映画サークル協議会(TEL 092-781-2817) * 詳細については、直接主催者にお問い合わせください。

■ 交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

地下鉄: 西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス: *天神~都市高速線由~福岡タワー南口(所要時間: 昼間で約20分) *博多駅~都市高速線由~福岡タワー南口(所要時間: 昼間で約25分) 福岡タワー南口バス停から徒歩3分。いずれも、昼間は10~15分間隔で運行されていますので、大変便利です。お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセンター(電話 733-3333)に直接お問い合わせください。

福岡市総合図書館
映像ホール・シネラ〒814-0001
福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
福岡市総合図書館
(代表) 092 (852) 0600
映像資料課 092 (852) 0608
FAX 092 (852) 0609
福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ
ホームページアドレス
<http://www.cinela.com>

適職発見、人材派遣。

長年の実績と信頼であなたのキャリアアップを応援します。

人材派遣の登録、お問合せは

NTTマーケティングアクト九州

0120-111-866

<http://www.kyu.nttact.com>福岡市博多区上呉服町10番10号
呉服町ビジネスセンタービル5F

NEC